



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 鈴茂器工株式会社

上場取引所 東

コード番号 6405 URL <http://www.suzumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 美奈子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 志賀 融

TEL 03-3993-1371

四半期報告書提出予定日 2021年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,743	39.1	363	655.0	374	678.0	284	860.7
2021年3月期第1四半期	1,972	△11.3	48	△72.8	48	△72.9	29	—

(注)包括利益 2022年3月期第1四半期 329百万円 (746.2%) 2021年3月期第1四半期 38百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	44.07	—
2021年3月期第1四半期	4.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	15,101	12,398	82.0
2021年3月期	14,694	12,198	82.9

(参考)自己資本 2022年3月期第1四半期 12,383百万円 2021年3月期 12,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	5.4	930	1.2	930	1.0	630	△7.8	97.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期1Q	6,480,000 株	2021年3月期	6,480,000 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2022年3月期1Q	36,626 株	2021年3月期	35,598 株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	6,444,055 株	2021年3月期1Q	6,465,433 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年6月30日）におけるわが国経済は、製造業は海外経済の回復に伴う輸出の増加などを背景に景況感が改善しましたが、非製造業は新型コロナウイルスの影響が大きい対個人サービスや宿泊・飲食サービスが低迷するなど、企業の景況感は二極化が鮮明になりました。

また、新型コロナウイルスの変異株の拡大、半導体や部材の供給不足が懸念されており、その動向に注視が必要な状況であります。

このような環境の下、国内は、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置に伴い、外食需要が低迷したものの、引き続き、テイクアウトやデリバリーの拡大、店舗における省人化の動きが進み、大手回転寿司チェーンの寿司ロボットの入替やテイクアウト用の容器に移載する機能が搭載された寿司ロボットの製品需要が拡大いたしました。また、巣ごもり需要の継続を追い風としたスーパーマーケットへの寿司ロボットの販売が堅調に推移いたしました。加えて、ご飯盛付けロボット（Fuwarica）も、ホテルや社員食堂といった新たな顧客層に需要が広がりつつあり、国内売上高は前年同四半期を大きく上回りました。

海外は、ワクチン接種が進んだ国を中心に、経済活動の正常化に向けた動きが進み、人手不足の解消や省人化に対応した機械化ニーズがさらに高まりました。地域別では、特に東アジア、北米、欧州において、外食事業者やスーパーマーケットに対する寿司ロボットの販売が大幅に拡大し、海外売上高は前年同四半期を大きく上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、27億43百万円（前年同四半期比39.1%増）と前年同四半期を大きく上回る結果となりました。国内・海外別の売上高の内訳は、国内売上高が18億17百万円（同16.3%増）、海外売上高が9億25百万円（同126.1%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の概況

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		増減額 金額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	1,972	100.0	2,743	100.0	771	39.1
国内	1,563	79.2	1,817	66.3	254	16.3
海外	409	20.8	925	33.7	516	126.1
売上総利益	889	45.1	1,330	48.5	441	49.6
営業利益	48	2.4	363	13.3	315	655.0
経常利益	48	2.4	374	13.7	326	678.0
親会社株主に帰属する当期純利益	29	1.5	284	10.4	254	860.7

利益面につきましては、売上高の増加により、売上総利益は13億30百万円（同49.6%増）、営業利益は3億63百万円（同655.0%増）、経常利益は3億74百万円（同678.0%増）と前年同四半期を大きく上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は、売上高の増加に加え、投資有価証券売却益39百万円を特別利益に計上したことにより、2億84百万円（同860.7%増）と前年同四半期を大きく上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億6百万円増加し151億1百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4億20百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2億6百万円増加し27億2百万円となりました。これは主に、流動負債その他に含まれる未払費用が1億99百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2億円増加し123億98百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払により1億28百万円減少したこと、および親会社株主に帰属する四半期純利益により2億84百万円増加し、為替換算調整勘定が47百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想値につきましては、2021年5月14日公表時から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,342,853	7,763,430
受取手形及び売掛金	1,321,992	1,283,020
電子記録債権	16,709	52,830
棚卸資産	1,801,579	1,785,545
その他	85,595	109,713
流動資産合計	10,568,730	10,994,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,492,988	1,474,704
土地	1,125,607	1,125,607
その他（純額）	287,602	275,859
有形固定資産合計	2,906,199	2,876,171
無形固定資産		
投資その他の資産	205,053	222,093
投資有価証券	411,383	396,784
繰延税金資産	439,481	454,037
その他	172,558	166,542
貸倒引当金	△8,680	△8,680
投資その他の資産合計	1,014,743	1,008,684
固定資産合計	4,125,996	4,106,949
資産合計	14,694,726	15,101,490

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	468,338	486,921
未払法人税等	231,658	156,844
賞与引当金	175,749	154,440
その他	506,365	774,380
流動負債合計	1,382,112	1,572,587
固定負債		
繰延税金負債	965	176
役員退職慰労引当金	8,765	9,100
退職給付に係る負債	1,035,616	1,051,333
その他	69,206	69,638
固定負債合計	1,114,552	1,130,248
負債合計	2,496,665	2,702,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,154,418	1,154,418
資本剰余金	982,960	982,960
利益剰余金	10,160,882	10,315,997
自己株式	△52,202	△52,202
株主資本合計	12,246,058	12,401,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,568	92,398
為替換算調整勘定	△38,752	8,275
退職給付に係る調整累計額	△122,820	△118,020
その他の包括利益累計額合計	△62,004	△17,346
非支配株主持分	14,006	14,827
純資産合計	12,198,060	12,398,653
負債純資産合計	14,694,726	15,101,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	1,972,677	2,743,700
売上原価	1,083,014	1,412,855
売上総利益	889,663	1,330,844
販売費及び一般管理費	841,501	967,223
営業利益	48,162	363,620
営業外収益		
受取利息	449	53
受取配当金	708	778
持分法による投資利益	—	1,079
受取保険金	1,000	1,323
為替差益	—	8,169
その他	497	1,669
営業外収益合計	2,655	13,073
営業外費用		
支払利息	—	30
手形売却損	10	96
売上割引	220	—
為替差損	28	—
譲渡制限付株式関連費用	1,790	1,635
持分法による投資損失	546	—
その他	29	0
営業外費用合計	2,625	1,761
経常利益	48,191	374,933
特別利益		
投資有価証券売却益	—	39,000
特別利益合計	—	39,000
特別損失		
固定資産除却損	—	21
特別損失合計	—	21
税金等調整前四半期純利益	48,191	413,912
法人税等	18,736	129,859
四半期純利益	29,454	284,052
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△108	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,563	284,003

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	29,454	284,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,344	△7,170
為替換算調整勘定	△8,018	37,128
退職給付に係る調整額	5,160	4,800
持分法適用会社に対する持分相当額	—	10,697
その他の包括利益合計	9,486	45,456
四半期包括利益	38,941	329,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,838	328,688
非支配株主に係る四半期包括利益	△897	820

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、収益認識会計基準等の適用による損益及びセグメント情報に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項のただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。